

# 令和3年度 社会福祉法人敬和会 経営方針

## I. 基本理念

「 利用者に希望と安らぎを 職員に笑顔とやりがいを 地域に感謝と貢献を 」

## II. 行動指針

1. 私たちは、常に利用者の立場にたって、笑顔で支援します。
2. 私たちは、希望に満ちた笑顔溢れる職場づくりに努めます。
3. 私たちは、地域に根差した、地域と共にある法人運営を目指します。

## III. 基本方針

### [共通事項]

#### 1 福祉サービスの質の向上

- (1) 利用者一人ひとりの人権を尊重し、権利擁護に努めるとともに、自己決定並びに意思を尊重した良質且つ安心・安全なサービスの提供を実現するための組織体制の構築と必要な整備に努めます。
- (2) 常に利用者の立場に立って、利用者や家族の方々が納得のいく支援や介護の計画に沿った適切な支援を行います。また、利用者それぞれが関係する事業所職員間での詳細な情報共有と綿密な連携を行うことで、心のケア及び生活しやすい環境づくりに努めます。

#### 2 人材の確保と育成, 職場定着

- (1) 次世代を担う新卒者の確保と実務経験を生かした活躍が期待される中途採用者の獲得に向けて、法人の広報活動を積極的に展開し、内定者が希望と期待を持って入職できるようなフォロー体制を構築します。
- (2) 質の高いサービス提供を目指し、職員の専門知識及び技能の習得に向けた研修を体系的且つ階層別に行います。
- (3) 職員の経営への参画意識を高めることにより、成就感・達成感・所属感等の醸成を図るとともに、情報の共有や連携、コミュニケーションの重要性への理解を深めるとともに、働き方改革に積極的に取り組むことで、誰もが働きやすい職場づくりを目指し、人材の定着に努めます。

#### 3 地域福祉の推進に向けた連携と地域貢献

- (1) 地域への参画・情報発信を積極的に展開するとともに、各関係機関との連携・協力を強化することで、障害児・者から介護を必要とする高齢者までの幅広い分野の福祉サービスを提供します。
- (2) 地域における日常生活・社会生活上の支援を必要とする方々に対して無料又は低額な料金による新しい公益的サービスの展開を図ります。

#### 4 相談支援体制の充実

- (1) 支援を必要としている方々がどのような生活を望んでいるのか、そのためには、どのような支援を必要としているのか、相談者の立場に立って、福祉サービスの選択や利用の仕方について自己決定ができるよう支援します。
- (2) 自立支援協議会や定例会等に参加し、各障害福祉サービス事業所等とのネットワーク作りに努めます。

#### 5 感染予防の徹底

- (1) 新型コロナウイルス感染症はもとより、その他の感染症に利用者並びに職員が罹患することがないように必要な措置を講じることで、安心・安全に利用できる、働ける施設・事業所を目指します。
- (2) 社会情勢を踏まえた上で法人独自の感染症対策マニュアルの整備を進めていくとともに、職員一人ひとりに感染予防への意識を高く持たせることで、感染予防に努めます。

### [障害者部門]

#### 1 利用者本位のサービスの提供

- (1) 利用者本人の個性や特性及び意思を尊重した個別支援計画等の策定を、家族との協力・連携の下で行うことで、本人に寄り添った専門的且つ質の高いサービスの提供を実現します。
  - (2) 重度化高齢化が進む事業所では、安心・安全に過ごせるように施設並びに環境整備を行うとともに、楽しみや生きがいを感じられる充実した内容の活動を企画・実施します。
- 2 就労支援事業の収益向上・工賃アップ
    - (1) 就労支援事業を行う各事業所においては、賃金並びに工賃の向上に向けて収益性・採算性を重視した計画を策定し、職員一人ひとりがコスト意識を高く持つことで、不採算事業の整理並びに新規事業の導入を検討します。
    - (2) 利用者一人ひとりの個性・能力に応じた作業内容を提供することで、一人ひとりがやりがいを持って、継続して取り組める環境を整えます。
  - 3 一般就労支援
    - (1) 就労移行・A型・B型利用者を問わず、一般就労を希望する方には、ハローワークや障害者職業センター並びに障害者就業・生活支援センター等とも緊密に連携し、企業等への就労支援並びに定着支援に努めます。
  - 4 地域生活への移行と支援
    - (1) 地域で自立した日常生活を営むことができるよう、施設入所・短期入所利用を通じた日常生活技能の習得を進めるとともに、利用者の皆さまの意思や人格を尊重し、グループホームへの移行等適切な支援に努めます。
    - (2) 日常的に介護が必要な方で地域での生活を希望される利用者が、地域でも安心して安全に生活が送れるようグループホームを整備し、日中・夜間を通じた継続的な支援並びに介護体制のサービスを提供します。

#### [障害児部門]

- 1 利用される子どもの健やかな成長と家族への支援
  - (1) 子どもの障害の状態及び発達の過程・特性等を踏まえた適切な支援と環境作りに努めます。
  - (2) 子どもの能力を最大限に発揮できるよう、保護者やご家族の思いを尊重し寄り添いながら、子どもの発達支援に努めます。
- 2 支援の質の向上と職員一人ひとりの資質・能力の向上
  - (1) 日常的に職員同士が主体的に学び合う機会として職場研修を実施したり、法人外研修に参加するなど自己研鑽に努めます。
  - (2) 療育並びに児童発達支援等に必要な知識・技術の修得、維持及び向上を図れるよう、外部研修会はもとより先進的な取り組みを行っている事業所での研修並びに講師の招聘による内部研修会を積極的に実施します。
- 3 各関係機関との連携・地域支援
  - (1) 児童発達支援センター及び児童発達支援を行う事業所として、子ども本人が支援の輪の中心となるように各関係機関での情報共有並びに連携を密にし、適切な支援を提供します。
  - (2) 地域社会とのふれあいを重視し、協議会や地域の子ども・子育て会議等へも積極的に参加し、地域で支援できる体制構築に取り組みます。

#### [高齢者介護部門]

- 1 地域密着型サービス事業者の特長を活かした施設入所・短期入所サービスの提供
  - (1) 入居者一人ひとりの意思及び人格を尊重し、またユニット型を活かして入居者が相互に社会的関係を築き、自立した日常生活が送れるよう支援します。
  - (2) 地域や家庭との結びつきを重視した運営を行うとともに、各関係機関並びに他の事業所等とも密接な連携に努め、介護サービスの質の向上及び断続的な利用を促進します。
- 2 地域密着型サービスにおける通所・訪問介護サービスの在り方
  - (1) 可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう生活機能の維持及び必要な機能訓練等を行うことで、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家

族の身体的及び精神的負担の軽減を図るものとします。

- (2) 地域における通所・訪問介護それぞれのニーズ把握を定期的に行いながら利用者拡大並びにサービスの質の向上に努めるとともに、他の事業所の介護支援専門員とも密接に連携してサービス提供を行います。

#### IV. 重点目標

##### 1 利用者確保と利用率の向上

- (1) 提供しているサービスについて、第三者評価基準ガイドラインに基づいて課題点と改善点を職員間で共有し、福祉サービスの質の向上に必要な環境並びに体制の整備を検討・実施する。
- (2) 利用者が日々の楽しみややりがいを感じられるように日中活動メニューの充実化を図るとともに、新規開発・開拓といった将来の事業所展望を見据えた取り組みを検討する。
- (3) 利用者並びに家族のニーズ把握に努めるとともに、リスクマネジメントを常に考慮した安心・安全なサービス提供を行えるよう職員一人ひとりが危機管理意識を高めて支援を行う。
- (4) 利用者一人ひとりに向き合い、それぞれが抱えている悩みや不安に寄り添うために傾聴する機会を積極的に作るるとともに、精神疾患など特性に応じた支援の在り方について研修を行い、利用者がより良い暮らし・生きがいを持った生活ができる環境を構築する。

##### 2 経営基盤の強化

- (1) 制度並びに報酬改定等の情報の収集を常に行うとともに、所属の事業所及び実施事業における加算等の内容・条件等を熟知し、運営上の工夫・改善に努めるなど経営の安定化を図る。
- (2) 幹部会議等の内容を充実させ、ガバナンス強化とコンプライアンス遵守を徹底する。
- (3) 5カ年中長期計画に沿った事業展開や施設整備の検討を行うとともに、各事業所における収支・経営状況の把握・聴き取りを定期的または必要に応じて行うことで法人全体の経営安定化を図るとともに、不採算部門事業の合理化や統合・再編を進めるなど、実状に合った業務並びに人員の効率化を検討・実施する。

##### 3 人材の確保・育成と働きやすい職場作り

- (1) 職場の働きやすさや定着に向けた情報共有を各事業所担当者間で行い、現状課題や改善点に取り組める職場づくりを各事業所で検討する。
- (2) 新卒採用及び中途採用それぞれの職員採用方法の検討から入職までのプロセス、入職後の人材育成までの一貫性のあるマネジメント体制を構築する。
- (3) 職員間及び上司とのコミュニケーションをとる機会を増やすことで職員個々が持っている悩みや要望を引き出し、より良い職場環境作り並びにサービスの質の向上に取り組む。
- (4) 職員一人ひとりが敬和会の職員としてやりがいや充実感を持ちながら働き、それぞれが職務上の責任を果たすことで自己研鑽並びに資質の向上を目指し、自身が暮らしている家庭や地域生活などにおいても、多様な生き方が選択・実現できるような環境の実現を目指す。